

(平成17年10月分)

種 類	市況の概要
野 菜	全般的に天候に恵まれ、高温の影響による品質の低下が一部にあったものの、生育は良好であり、全体として入荷量は、前年同期を14%上回った。価格は、台風被害により高値であった前年同期を30%下回った。 品目別には、キャベツ・レタス・きゅうり・ピーマン・長大根・ばれいしょ・たまねぎは入荷増となり、価格は、たまねぎが前年並みとなったほかは、台風被害により高値であった前年同期を大きく下回った。はくさいはほぼ前年並みの入荷量であったが、価格は前年同期を大きく下回った。トマト・洋にんじんについては入荷減であったが、価格は前年同期を下回った。 葉菜類は、入荷量は18%増加し、価格は43%下回った。 果菜類は、入荷量は10%増加し、価格は30%下回った。 根菜類は、入荷量は16%増加し、価格は45%下回った。 土物類は、入荷量は8%増加し、価格は15%下回った。
果 実	高温の影響による着色不良や小玉傾向等の品質の低下が一部にあったものの、全般的に天候に恵まれ、生育状況は良好であり、全体として入荷量は、前年同期を10%上回った。価格は、台風被害により高値であった前年同期を20%下回った。 柑橘類は、入荷量は10%減少し、価格は18%下回った。 りんご類は、入荷量は4%増加し、価格は18%下回った。 かき類は、入荷量は4%増加し、価格は32%下回った。 メロン類は、入荷量は40%増加し、価格は30%下回った。

主要品目	市況の概要
はくさい	長野を主力に北海道・茨城からの入荷。天候に恵まれ生育の遅れも回復し、入荷量は、ほぼ前年並みとなった。 価格は、高温の影響により一般消費の需要が伸びず、台風被害により高値であった前年同期を 5 2 % 下回った。
キャベツ	長野・群馬・北海道を主力に茨城・愛知からの入荷。生育良好で大玉傾向となり、入荷量は、前年同期を 2 0 % 上回った。 価格は、入荷増のため、高値であった前年同期を 5 8 % 下回った。
レタス	長野・茨城を主力に兵庫からの入荷。生育良好で大玉傾向となり、入荷量は、台風被害のあった前年同期を 7 3 % 上回った。 価格は、入荷増のため、高値であった前年同期を 5 1 % 下回った。
きゅうり	宮崎を主力に北海道・福島・茨城・熊本からの入荷。全般的に天候に恵まれ生育良好となり、入荷量は、前年同期を 3 6 % 上回った。 価格は、入荷増のため、高値であった前年同期を 4 5 % 下回った。
トマト	熊本を主力に北海道・岐阜・滋賀・茨城からの入荷。熊本産の出荷が出遅れ、全体として入荷量は、前年同期を 4 % 下回った。 価格は、入荷減にもかかわらず、野菜全体の低価格傾向から前年同期を 1 4 % 下回った。
ピーマン	大分・茨城・兵庫・高知からの入荷。天候に恵まれ生育良好で、入荷量は、前年同期を 1 5 % 上回った。 価格は、入荷増のため、高値であった前年同期を 4 8 % 下回った。
長大根	北海道を主力に青森・岩手からの入荷。天候に恵まれ生育良好で、入荷量は、前年同期を 2 5 % 上回った。 価格は、入荷増のため、高値であった前年同期を 5 5 % 下回った。
洋にんじん	北海道を主力に青森からの入荷。高温の影響により小玉傾向となり、入荷量は、前年同期を 6 % 下回った。 価格は、入荷減にもかかわらず、高値であった前年同期を 2 3 % 下回った。

ばれいしょ (メイクイン含む)	北海道を主力に千葉・滋賀からの入荷。入荷量は、前年同期を 6 % 上回った。 価格は、入荷増のため、前年同期を 7 % 下回った。
たまねぎ	北海道を主力に兵庫からの入荷。生育期の低温の影響により小玉傾向となったものの、全体として入荷量は、前年同期を 9 % 上回った。 価格は、入荷増ではあったが、ほぼ前年並みとなった。

主要品目	市況の概要
極早生みかん	和歌山・福岡・愛媛・長崎からの入荷。高温と早魃の影響により，着色不良と小玉傾向となり，入荷量は，前年同期を１０％下回った。 価格は，入荷減にもかかわらず，品質の低下から，前年同期を１８％下回った。
津軽 (サン津軽含む)	青森・北海道・岩手からの入荷。着色の遅れから，出荷時期が集中し，入荷量は，台風被害の大きかった前年同期を１１９％と大きく上回った。 価格は，大幅な入荷増となり，前年同期を２９％下回った。
ふじ (サンふじ含む)	青森・山形・岩手・長野からの入荷。高温の影響による着色不良があるものの，入荷量は，ほぼ前年並みとなった。 価格は，前年同期を２５％下回った。
富有柿	山梨・長野・福岡からの入荷。高温の影響による着色不良と小玉傾向のため，入荷量は，前年同期を２３％下回った。 価格は，入荷減にもかかわらず，品質の低下から，前年同期を２０％下回った。
アールス	静岡・茨城・愛知・長野からの入荷。入荷量は，前年同期を１９％上回った。 価格は，入荷増と他品種との競合のため，前年同期を２６％下回った。